

福祉だより 信州

No.

747

2017 9月号



CONTENTS

今月のフクシちゃん	2
県社協からのイチオシ情報	4
公益事業の推進に向けて	6
WEB INFORMATION	7
住民主体の福祉活動	8

小さくても思いがある子どもたちを受け止め、
人生の基礎になる幼少期の成長を大切に

成長に合わせて変化する障がい特性を理解し、
地域全体で子どもたちを支援



今月のフクシちゃん

毎月福祉の現場で活躍する若手スタッフをご紹介します。

社会福祉法人この街福祉会 この街きつず学園

児童指導員

高橋奈津子さん

放課後等デイサービス
児童発達支援管理責任者

上田 南さん

webでも
ご覧になれます



諏 訪6市町村で障がい福祉サービ
スを展開する「この街福祉会」。

そのなかでも40年間、諏訪市で行われていた通園事業を民営化する形で平成27年に開園したのが、児童発達支援センター「この街きつず学園」です。

入社6年目の高橋さんは、0〜6歳の発達に不安のある子どもの中療育を担当。一般の保育園と同様に体操や制作活動をするなかで、一人ひとりに手厚く付き添い、教材なども個別に用意をすることで個々ができる活動を伸ばしています。

「それぞれの子どもが好きなものを教材に取り入れることで、自分からやりたいと思うてもらえるよう努めています。」

ます。仕事は大変なこともありすが、ズボンを一人数であげられたり、食べられなかったものが食べられたりといった本当に小さなことでも喜びを感じますし、それをお母さんたちと共有できるとうれしく思います」

最近では高橋さんが関わらずとも子ども同士でやりとりができてくる様子を見て、彼らの力や可能性を感じたと話す高橋さん。障がいとの関わり方を悩む保護者も多いため、寄り添い、ともに悩みながら成長の喜びを分かち合っています。

入社10年目の上田さんは、特別支援学校・学級に通う小学1年生から高校3年生までの放課後等デイサービ

スを担当。食事や排泄の自立を促すほか、放課後の雰囲気なかでリラックasできる環境をつくり、学年が異なる子ども同士が接する機会を設けることで社会性も養っています。

「子どもと楽しい時間を過ごすために、一緒に遊ぶ中で好きなものも理解したり信頼関係を築き、ここが安心できる場、楽しい場と認識してもらえらることを大事にしています」

こう話す上田さん。子どもが通う学校やほかの事業所での支援の様子も共有することで、地域全体で子どもたちを支えていると語るその明るい笑顔が、何よりも仕事の充実を物語っていました。



和気あいあいとした職場の雰囲気のなか、職員間のコミュニケーションも大切にしている上田さんと高橋さん。ここでは卒園後も放課後デイサービスを利用する子どもが多いため、成長を見守ることができると嬉しいと上田さんは話します。高橋さんは日々担任同士で1日を振り返り、時にはクラスの枠を越えて職員同士相談をしようとして、一人ひとりの子どもに寄り添っています。

コミュニケーションを大切に
子どもや保護者と信頼関係を構築



言葉だけでは伝わらない子どもも多いなかで、気持ちに共感でき、一緒にやりたいことができるとうれしく思いますし、次第に信頼関係ができると、子どもから伝えようという姿勢が増えることがこの仕事のやりがいです。そうしたなかで、これからも楽しみながら元気にいっばいに子どもたちと関わり、子育てを頑張る保護者の方々や職員とコミュニケーションを図って子どもの成長を見守っていくことが私の目標です。当園はこのように明るい雰囲気の職場なので、私たちの仕事に興味を抱いた方はいつでも見学にきてほしいと考えています。

一人ひとりの子どもの良さを
そのままに、成長を見守りたい



当園には明るく経験豊富な職員が多く、いろいろな先生と複数担任になることで支援の幅が広がったと感じています。そうしたなかで大切にしているのは、子どもの視線や表情、前後の環境を考慮して気持ちを汲み取ること。そのためにも、この仕事は子どもが好きなことはもちろん、さまざまなことに気付いてあげられることが大切です。そして、この仕事をめざす人には障がい特性を学び、障がいをマイナスに捉えないでほしいと思います。私はこれからも、子どもにも保護者にも寄り添い、一緒に悩みながら成長する保育士になりたいです。

福祉人材の確保に向けて 長野県福祉人材センターの新たな取り組み

1 介護人材を取り巻く環境

厚生労働省が平成27年6月に公表した「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計」によると、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年(平成37年)には、全国で約37万人(長野県内でも約8千人の介護人材が不足すると想定されています。人材不足が常態化している福祉業界の中でも、特に介護分野は深刻な状況が続いています。

2 新たな取り組み

■ 認証・評価制度の導入

長野県では平成29年度から「信州福祉事業所認証・評価制度」を導入し、長野県福祉人材センターが運用することとな

りました。この制度は、福祉・介護事業所が人材育成や職場環境の改善等に取り組むことを「宣言」することから始まり、一定の審査基準を満たした事業所に長野県知事が「認証」を与えるものです。この制度の運用を通して人材の育成・定着に取り組む事業所の支援を進めてまいります。

現在は10月以降に参加事業所の募集を開始できるよう準備を進めており、認証・評価を受けた事業所を検索できる専用のホームページの開設を準備しています。また、認証を受けた事業所に与えられる認証マークの創作を行っています。

■ 介護職への外国人の受け入れ

国内の介護人材不足が顕在化する中で、外国人介護人材に注目が集まっています。外国人の介護職への受け入れは、E P

A(経済連携協定)に基づくインドネシア、フィリピン、ベトナムの3か国からの介護福祉士候補者受け入れ制度のみでしたが、平成28年11月に公布された「技能実習法」・「改正入国管理法」により外国人介護人材の受入制度が拡充されました。これにより、介護業界でも外国人介護人材の受け入れが一基に進むと見込まれています。「長野県社会福祉法人経営者協議会(事務局 長野県社会福祉協議会)」でも、今年度4月の社会福祉法人対象のセミナーを「外国人介護人材の受入・活用に向けて」〜ベトナムからの技能実習生の受入れ事例から〜というテーマで開催するなど、介護業界の関心事となっています。

長野県福祉人材センターでも、今秋に事業所向けに外国人介護人材の受け入れについてのセミナーを予定しているほか、11月には『福祉人材確保スタディーツアー in ベトナム』を企画しています。

募集中 福祉人材確保 スタディーツアー in ベトナム

4泊5日の日程で、ベトナムホーチミン市の看護学校、日本語学校、介護施設を回る予定と見学するツアーも企画しました。視察の案内人は愛知県の「社会福祉法人 福寿園」の古田常務理事です。

福寿園は平成21年のEPA第1期生からの受け入れ実績があり、現在47名の外国人介護職が働いています。経験豊富な法人から様々なノウハウが学べるツアーとなっております。

【お問い合わせ】
総務企画部 共済事業グループ
電話 026・226・4126



コラム

社会福祉法人福寿園を視察させていただきました！！

愛知県田原市の社会福祉法人福寿園へ古田常務を訪問させていただきました。ご紹介いただいたベトナムから来日2年目の介護職員さんお二人にインタビューしました。お二人はベトナムで看護師の資格を持ち、EPAを利用して日本にやってきました。同法人では毎週木曜日に勤務時間のほか1日を日本語学習の時間として外国人介護職員を支援しています。

- 出身はどこですか？
ベトナムのハノイです。
- 普段はどんなお仕事をしていますか？
認知症の方の身の回りのお手伝いなどです。業務のほか、週1回社内の日本語教室にも出ています。
- お住まいはどうしていますか？
法人で用意していただいた寮に住んでいます。自転車で15分くらいのところにあります。
- 日本に来た理由はなんですか？
ベトナムでも日本のアニメを放送していて憧れていました。大好きな日本で定年まで働きたいと思っています。
- 日本に来て難しいと感じることはなんですか？
日本語はもちろんですが、マナーも難しいです。あと日本は寒いです。
- 長野県は知っていますか？
長野県へスキーに連れて行ってもらった事があります。ベトナムでは出来ないのが楽しかったです。
- 目標を教えてください。
介護福祉士試験に合格したいです。チャンスは2回あるので頑張ります。



福寿園で働くゴーティ・リユさん(左)とタオティ・リエウさん(右)



左:インタビューに同席頂いた太田 充さん(長野市出身)生活相談員を務めるほか、外国人受入支援も担当。

取材先/特別養護老人ホーム 田原福寿園(愛知県田原市六連町神ノ釜9-3) 6月に取材

3 これからの福祉人材確保に向けて

長野県福祉人材センターでは福祉の合同就職説明会、福祉施設見学会、福祉の職場体験など福祉人材確保に向けた事業を毎年実施していますが、今年は、目立って求職者の参加人数が、県内の有効求人倍率は1.57倍(長野労働局、6月発表)となっており、福祉人材の確保は一層厳しさを増しています。

このような著しい情勢ですが、長野県及び関係機関・団体との連携、協働を更に進めながら、関係者が一丸となって福祉人材確保に取り組んでまいります。



福祉の職場説明会の様子



■ 長野県保育士人材バンク
今年度から保育所の保育士確保を支援するため「長野県保育士人材バンク(長野県福祉人材センター内)」を新たに開設しました。バンクでは保育士支援専門員を配置し、保育のお仕事の求人求職情報を提供するほか、保育士と保育所等のマッチングを支援します。また、保育士の復職支援研修等、事業所向けのセミナーも予定しています。
保育士資格をお持ちの方は、長野県保育士人材バンクに届出・求職登録(いずれも無料)をぜひお願いいたします。(電話 026・217・7787)



WEB INFORMATION

ソウェルクラブをご活用ください。

ソウェルクラブには、職員が求めている福利厚生があります。

ソウェルクラブの会員数は、全国で25.8万人です。

ソウェルクラブの福利厚生は、お問い合わせは、下記まで。

福利厚生センター(ソウェルクラブ)は、社会福祉事業(介護福祉事業)に従事する者の福利厚生を全国一貫して展開し、スタートアップを支援することにより、各々の法人では実現が難しい充実したサービスを提供しています。

- 1 加入のメリット**
 福利厚生の充実した法人への就職
 福利厚生制度の充実
 福利厚生センターの相談、各種福利厚生制度の活用
 福利厚生制度の充実することにより、さまざまな福利厚生を実現しています。
- 2 充実したサービス**
 福利厚生の充実、福利厚生制度の活用
 福利厚生センターの相談、各種福利厚生制度の活用
 福利厚生制度の充実することにより、さまざまな福利厚生を実現しています。
- 3 資金はわずか年1万円**
 福利厚生制度の充実、福利厚生制度の活用
 福利厚生センターの相談、各種福利厚生制度の活用
 福利厚生制度の充実することにより、さまざまな福利厚生を実現しています。

ソウェルクラブ 社会福祉法人 福利厚生センター
<http://www.sowel.or.jp/>

ソウェルクラブは、福祉の職場で働く人の福利厚生を支援しています。「職員の確保・定着のために」ソウェルクラブをご活用ください。福利厚生センター(ソウェルクラブ)は、社会福祉法に基づき「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的として、厚生労働大臣から指定された全国で唯一の法人です。

個々の法人では成し得ない福利厚生事業を全国規模で共同化することにより、規模のメリットを最大限に活かし、会員のニーズに応じた多種多様なサービスを提供しています。

長野県社会福祉協議会は、ソウェルクラブ地方事務局(業務委託団体)として会員のニーズに対応して事業を実施しています。特に会員の方は、会員交流事業に格安料金で参加する特典があります。

その他会員の特典については、詳しくは福利厚生センターホームページをご覧ください。

<http://www.sowel.or.jp/>

連絡先/長野県社会福祉協議会
 総務企画部共済事業グループ
 TEL / 026-226-4126



「地域共生社会実現に向けて」～長野県福祉懇談会開催報告～

地域共生社会の実現に向けて長野県の地域福祉の充実を図るため、県の福祉関係団体等のトップが集い、福祉改革の流れを前向きにとらえ、福祉の各分野を超えて関係団体間の連携を深めていくことを目的に、長野県、長野県社協の主催により、8月4日長野市において初めて開催しました。

○基調講演

厚生労働省地域力強化検討会委員で毎日新聞論説委員 野澤和弘氏から基調講演をいただきました。今回の福祉制度改革を、「戦後3番目の大きな転機」とし、「我が事・丸ごと、の共生社会実現に向けて福祉関係者が地域住民とともに「福祉でまちづくり」を進めることが重要で、高齢者、障がい者、児童等の各分野を超えた連携の重要性を強調されました。



○懇談会

初めに高齢者、障がい者、社協の各分野から意見表明があり、懇談では「県域福祉団体間の連携の強化」、「市町村単位での社会福祉法人連絡会の設置」など様々な意見があり、今後の事業に活かしていきます。



地域力強化検討会の開催状況については、下記をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-syakai.html?tid=383233>

平成29年度 社会福祉施設 総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の
事故・紛争円満解決のために!

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

スケールメリットを活かした 充実した補償と 割安な保険料です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		▶ 年額保険料(掛金)	
	基本補償(A型)	定員	基本補償(A型)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	1~50名	35,000~61,460円
対物賠償(1事故)	2,000万円	51~100名	68,270~97,000円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	以降1名~10名増ごと	1,500円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円		
人格権侵害(期間中)	1,000万円		
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円		
事故対応特別費用(期間中)	500万円		
被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)		
傷害見舞費用	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)		

付見舞費用(B型) + 基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

プラン2 施設利用者の補償
 プラン3 施設職員の補償
 プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆ [29年度新設] 看護師の賠償責任補償(プラン1-①オプション2)

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
 引受幹事(保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

(SJKNK16-16919 2017.2.3作成)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度 全国200万人 加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

保険金額		年間保険料(1名あたり)	
ケガの補償	賠償責任	タイプ	プラン
死亡保険金	1,320万円	Aプラン	Bプラン
後遺障害保険金	1,320万円(限度額)	350円	510円
入院保険金日額	6,500円	天災タイプ(※)	710円
手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	基本タイプ+地震・噴火・津波	
通院保険金日額	4,000円		
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金(特定感染症)	300万円(限度額)		
賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		

保険金をお支払いする主な例

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)
 送迎サービス補償 (傷害保険)
 福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
 引受幹事(保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJKNK16-16921 2017.2.3作成)

「農民とともに」の精神を受け継ぐ、 地域の保健室はぐみ



上:活動の様子(タッチケア講座の様子)
右:世代を越えた地域の居場所です



「はぐみ」の実践を報告する井出美由紀氏(信州くらしの支え合いネットワーク全体会から)



地域の保健室はぐみの活動の原点は、佐久総合病院の「農民とともに」の精神にあります。この想いを受け継ぎ、地域を丸ごと包み込み(hug)、住民と共に地域を育みたいという想いを込めて「はぐみ」と名付けました。現在はずだ健康館を拠点に地域にも出張し、地域住民との対話の場・安心して身も心も委ねられる地域のコミュニティスペースとして、健康を通したまちづくりを行っています。常設のまちかど健康相談室では、病気の相談だけでなく、心の問題や生活の中の困りごとにも看護師等へ気軽に相談できる場となっています。また、地域住民やボランティアと共に活動する中で、助ける・助けられるではなく、同じ立場でそれぞれの想いが繋がる、双方向の関係性を大切にしています。

地域ケア科の井出美由紀さんは、「まずは自分が楽しめる場所に。居心地の良い場所になるように考えています。」と話します。地域住民と一緒に楽しいことを考え、一緒に感じ、寄り添いながら共に生きていく。穏やかな時間が流れる居場所です。

連絡先/うすだ健康館 TEL 0267-81-5541

今月の逸品

シルク(真綿)を春先の小枝で染め、毎日コツコツ丁寧に織り上げたストール、手織りの布をあしらった手作りのストール。どれも世界に一つあなただけのもの。自分のご褒美に、大切な方への贈り物に喜ばれています。

社会福祉法人しあわせ
就労継続支援B型事業所「クロスロード」
〒387-0016 長野県千曲市寂蒔 410-1
TEL 026-274-3485 FAX 026-213-7315



webでも
ご覧になれます

情報掲示板

県社協からのお知らせ

- 第66回長野県社会福祉大会
日程/平成29年9月13日(水) 13:00~16:15
会場/佐久市コスモホール(佐久市)
問合せ先/社会福祉法人長野県社会協議会 総務グループ
- 平成29年度市町村社会福祉協議会事務局長研究協議会
日程/平成29年10月19日(木)~20日(金)
会場/鹿教湯病院 かけゆ講堂(上田市)
問合せ先/社会福祉法人長野県社会協議会 総務グループ

新着助成金情報

- 元気シニア応援団体に対する助成活動
問い合わせ先/(一社)生命保険協会
応募締切/平成29年9月30日(土)
TEL/03-3286-2643
URL/http://www.seiho.or.jp/activity/social/senior/guideline/
- NPO基盤強化資金助成/「認定NPO法人取得資金」の助成
問い合わせ先/(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団
応募締切/平成29年10月31日(火)
TEL/03-3349-9570
URL/http://www.sjnkwf.org/jyosei/nintei-npo.html

- ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 総務グループ
TEL 026-228-4244 FAX 026-228-0130
E-mail soumu@nsyakyo.or.jp

webでも
ご覧になれます



ざわめくアート



『石膏像』『モンロー』
大島祐樹(おおしまゆうき)
2000年生 長野市在住

美術室にあったデッサン用の石膏彫刻を見ながら描かれた4枚の絵。私たちはこういった写実画を描くとき、まずは全体の輪郭を描いてから細部を描いていく。しかし自閉

症スペクトラムの人の表現は、端から描いていくことがよく見られる。まるでスキャナーのようだ。全く正確な写実かと言えば微妙に違っており、それが不思議な感覚を観る者に与える。そして陰影をグラデーションで表現するのではなく、パッチワークのようにパーツに分けて捕らえ、色付けされている。何とも不思議な空気が伝わってくる。アンディー・ウォーホルがすべて色や模様を替えて、マリリン・モンローをシルクスクリーンで表現した何枚もの作品を並べたものが有名だが、この作品はまたそれを彷彿とさせる。また、さらに作者がマリリン・モンローをパソコンで描いた絵はもっとポップだ。